

## 道徳科学習指導案

### 1 主題名 「ほんとうの親切」 【B親切、思いやり】

教材名 「心と心のあく手」(日本文教出版 小学どうとく 生きる力4年生)

### 2 主題設定の理由

#### (1) 価値観

中学年の「親切、思いやり」では「相手のことを思いやり、進んで親切にすること」をねらいとしている。この内容項目は、低学年の「身近にいる人に温かい心で接し、親切にすること。」を受け、さらに高学年の「誰に対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にすること。」につながるものである。

中学年における「思いやり」は、相手の立場を優先して考えることが必要である。自分がどのように接し対処することが、相手のためになるのかをよく考え、言動や行動へとつなげていくことが求められる。そのためには、人間関係の深さの違いや意見の違いを乗り越え、相手の立場を押し量りながら自分の気持ちを相手に向けることが大切になる。そこで、本当の親切とは何なのか、相手のためとはどういうことなのか、主人公の「ぼく」の気持ちを考えることを通して、思いやりの心や親切な行動を考える機会とする。

#### (2) 児童観

#### (3) 教材観

「ぼく」は、重そうな荷物を持って歩いているおばあさんに出会い、迷いながらも手を貸そうと声をかける。しかし、おばあさんに断られてしまう。残念に思いながら家に帰ると、母から「おばあさんは病気で体が不自由になり、歩く練習をしてここまで治ってきた。」と聞き、おばあさんの本当の気持ちを知る。そして、次に会ったときは、おばあさんのために何ができるかを考え、思い悩んだ「ぼく」は、後ろから見守ることにした。この「ぼく」のとった行動を通して、思いやりとは何か、本当の親切とは何かを考えさせることのできる教材である。

おばあさんの後ろをそっとついていった「ぼく」の気持ちを考えることを通して、見守ることも親切のひとつであることに気づき、相手の状況や気持ちを大切に思いやりの心をもって親切にしようとする道徳的判断力を育てたい。

### 3 指導方針

#### 〈事前〉

- ・安心して自分の考えや意見を発表できるように、発言の後にはみんなで拍手をするなど互いを認め合う学級の雰囲気づくりに努める。
- ・毎日の帰りの会の中で、人のために親切な行動をしていた友だちを子供同士で紹介する場を設ける。

#### 〈本時〉

- ・導入の場面では、私たちの身の回りにも「障害のある人たち」がいることについて想起させる。
- ・問題場面の状況を捉えやすくするために、教師が範読するだけでなく、場面絵を掲示したり、状況を問う発問をしたりする。
- ・児童が主体的に考えられるように、主人公がどんなことを考えながら行動したのか、なぜそう考えたのだろうか、と、発問を中心に授業を組み立てる。
- ・他者の考え方の違いやよさに気付いたり、自分の考えを深めさせたりするために、たくさんの意見交流が行えるような学習形態を工夫していく。
- ・道徳的価値を深める場面では、「声をかけたぼく」と「後ろをついて歩いたぼく」を比較させることで、どちらも相手の状況や気持ちを大切にしているという共通点に気付かせる。

#### 〈事後〉

- ・日常生活の中で、本時の学習内容について実践できていたことを紹介し、賞賛する。
- ・帰りの会では、引き続き子供同士で親切的な行動を紹介していく場を設定する。

#### 4 本時の学習

##### (1) ねらい

「声をかけたぼく」と「後ろをついて歩いたぼく」について比較して考えることを通して、見守ることも親切のひとつであることに気付き、相手の状況や気持ちを大切に思いやりの心をもって親切にしようとする道徳的判断力を育てる。

##### (2) 準備・資料

教師：教科書「小学どうとく 生きる力4年」（日本文教出版）、場面絵、ノート

児童：教科書、ノート

##### (3) 展開

時	学習活動（◎中心発問、○発問、予想される反応）	指導上の留意点
2	<p>1 本時で扱う道徳的価値について、問題意識をもつ。</p> <p>○お年寄りの方、あるいは体の不自由な人に親切にしてあげたことはありますか。</p>	<p>○身の回りにも「高齢者」や「障害のある人たち」がいることについて想起させ、「親切にする」ことについての経験を振り返らせることで、価値への導入を図る。</p>
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p>【めあて】本当の親切とはどんなものだろう。</p> </div>		
8	<p>2 教材「心と心のあく手」の範読を聞く。</p> <p>○心配して声をかけたのに、断られてしまったときの「ぼく」はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんで断るのだろう。</li> <li>・心配して損したな。</li> <li>・勇気を出したのに悲しい。</li> <li>・せっかく声をかけたのがっかりだ。</li> </ul> <p>○お母さんからおばあさんの事情を聞いたときの「ぼく」はどんな気持ちだったでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・何も知らなかった。</li> <li>・僕に声をかけられたとき、どう思ったんだろう。</li> <li>・おばあさんは頑張っていたんだな。</li> </ul>	<p>○教師が教材文を範読する。</p> <p>○場面絵を使い、問題場面の状況を把握しやすくする。</p> <p>○足が不自由にも関わらず「ぼく」の申し出を断ったおばあさんの本当の理由がわからないままの「ぼく」の心情を捉えさせる。</p> <p>○せっかく親切にしたのに、断られてしまった「ぼく」の悲しい気持ちを押さえる。</p> <p>○「そうだったのか。」の言葉から、「ぼく」が何に気付き、何を思ったのかを考えさせる。（人間理解）</p>
3	<p>3 教材を通して、道徳的価値についての考えをもち、交流をする。</p>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎「ぼく」がそっとおばあさんの後ろをついて歩いたのは、どんなことを考えたからでしょう。</p> </div>	<p>○自分の考えをノートに書かせる。</p> <p>○全体で中心発問について話し合わせる。</p> <p>○友だちの考えで「いいな」と思うものが</p>

10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声をかけてもまた断られるかもしれない。</li> <li>・おばあさんのことが心配だ。</li> <li>・おばあさんに何かあったら助けたい。</li> <li>・声をかけずに見守ってしよう。</li> <li>・おばあさんに自分の力で頑張ってもらいたい。</li> <li>・手伝わないことがおばあさんのためになる。</li> <li>・自分にできることはないだろうか。</li> </ul>	<p>あればノートに書かせる。【感性】</p>
10	<p>○「声をかけたぼく」と「後ろをついて歩いたぼく」はどちらが親切と言えるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・荷物を持つとうとしてるほうが親切だ。</li> <li>・相手のことを考えると見守ったほうが親切だ。</li> <li>・どちらも親切だ。</li> </ul> <p>○どうしてどちらも親切と言えるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おばあさんのことを心配しているから。</li> <li>・行動は違ったけれど、相手のことを大切にしているから。</li> </ul>	<p>○声を掛けるだけでなく、そっと見守るという行動も親切なのではないかということに気付かせる。(他者理解)</p> <p>○「ぼく」が最初に考えていた親切と、事情を知ったあとに考えた親切の違いに気付かせる。</p> <p>○どちらも相手を思う気持ちから出た行動であることを認め、自分にできることを考えて行ったことであることに気付かせる。</p>
10	<p>4 道徳的価値に対する多様な意見を知り、学習のめあてについてもう一度考える。</p> <p>○本当の親切とはどんなものでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を思う心。</li> <li>・相手のことを知って見守ること。</li> <li>・応援してあげること。</li> <li>・相手のことを考えて行動に移すこと。</li> <li>・相手の気持ちを考えたり、行動を見たりして自分にできることは何かを考えること。</li> </ul>	<p>○導入時に投げかけた「障害のある人たち」についてももう一度想起させ、自分の生活と結び付けて考えられるようにする。</p> <p>○親切にする行動にもいろいろな種類があり、何かしてあげることだけが親切ではないことに気付かせる。</p> <p>○相手の事情や気持ちを大切にすることが必要だと気付かせる。【判断力】</p>
5	<p>5 本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。</p> <p>○今日の学習を通して、思ったことや考えたことを書きましよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・応援することも親切だと気付きました。これからは、相手の様子を見たり、相手の気持ちを考えたりしながら、自分にできることをしていきたいと思います。</li> </ul>	<p>○本時で考えたことをノートに書く時間を設け、考えがまとめられるようにする。</p> <p>○何人かの児童に発表させ、道徳的価値に対する思いや考えを学級で共有する。</p>

【評価の視点】

- ・親切にする際に、相手の状況や気持ちを大切にすることについて、自分の生活と結びつけて考えている。
- ・意見交流のなかで、本当の親切とは何かを多面的・多角的に理解して共感している。

(ノート、発表)